

# RAINBOW

NO. 100

松江市教育委員会学校教育課 松江市学校図書館支援センター TEL:55-5073 FAX:55-5251  
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/kyouiku/gakkou/>

平成18年度に松江市教育委員会内に設置された、松江市学校図書館支援センターは、今年度で17年目を迎えます。設置当初から発行している学校図書館支援センターだより「RAINBOW」が今号でNo.100となりました。

継続は力なりと言いますが、支援センターだよりで学校図書館の機能や役割、各学校の活用事例など学校図書館の運営や活用教育に役立つ情報を伝え続けてきました。図書館担当者だけでなく、先生方に広く周知することで各学校の図書館活用教育が推進されてきたのではないかと考えています。

今後も学校図書館を支援する部署として、また、チーム松江となるように、各学校と支援センターが連携して、この支援センターだより「RAINBOW」を通して役立つ情報を発信していきたいと思えます。



## 本を寄贈していただきました

令和4年7月15日に、林良子氏からご自身の著書『学びをつなぐ学校図書館 松江発！学び方指導体系表を活用しよう』（著：林良子、編集・解説：鎌田和宏、悠光堂発行）を市立小中学校と市立義務教育学校へ寄贈していただき、上定昭仁市長が受け取りました。

「学び方指導体系表」～子どもたちの情報リテラシーを育てる

cf. HP: 松江市学校図書館支援センター

松江市「学び方指導体系表」



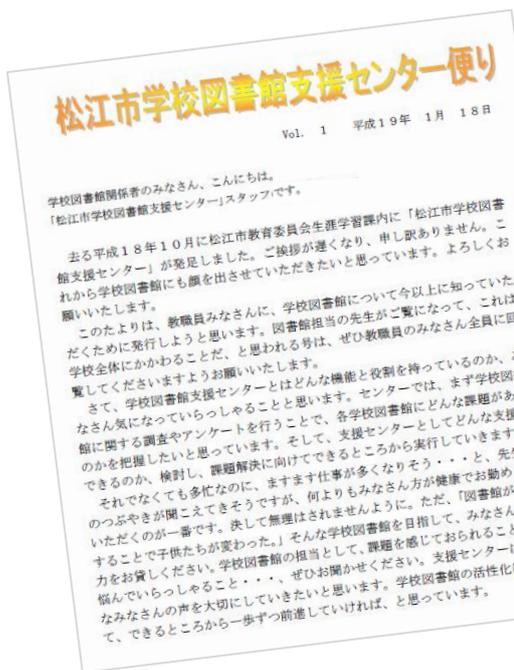
林良子氏と上定市長

林氏は、小学校で司書教諭として勤務した後、2014年から5年間、松江市学校図書館支援センター教育指導講師として勤められました。

本書は、松江市学校図書館支援センターで作成した「学び方指導体系表」を活用して、子どもたちの情報リテラシーを育てる授業実践等の具体例の紹介や、これからの時代に求められている資質・能力や情報リテラシーを育てる意義について述べられています。

林氏から「市で1つの体系表をもち、学校間で取組を情報共有しながらすすめている松江市の取組が今後も継続発展するように願っています。ICTを活用する教育が求められている今だからこそ、その基礎となる考え方の参考にしてほしいと思います。教育のインフラとしての学校図書館の可能性が、全国の教育委員会や学校で広く理解され、子どもたちの学びが豊かになることを願うとともに、これからも学校図書館を応援していきたいです。」というメッセージをいただきました。

—空にかかる美しい虹—希望に満ちた未来への橋のように見えませんか？  
このたよりが学校内の教職員の皆さん同士、学校と学校、学校と市立図書館、学校と教育委員会の橋渡し役となれるよう願いをこめてRAINBOW（虹）」と名づけました。(Vol.14 平成20年1月31日)



松江市の学校図書館支援センターの主なあゆみとともに支援センターだよりの記事をピックアップして紹介します。

<p>年度 松江市学校図書館支援センターのあゆみ</p>	<p>支援センターだよりの記事</p>
<p>平成18年（2006年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援センター設置</li> <li>支援センターだより発行開始*1</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>松江市学校図書館支援センターだより</b></p> <p style="text-align: right;">Vol. 4 平成19年 3月 5日</p> <p><b>では、松江市の事業の特長は？</b></p> <p>松江市は平成18年11月に「<b>新・松江市図書館ネットワーク整備プラン</b>」を策定しました。「松江市学校図書館支援センター事業」はこの整備プランにのっとっています。現在支援センターは松江市の学校図書館に関して三つの課題があると考えています。それは、人、物流、情報の三点です。整備プランどおりに図書館整備がなされたとしても、それらすべての解決にならないと、私たちは考えています。そこで、これらの課題解決のために事業の残り2年間をかけて調査研究を行っていきます。この事業が終了したら、それで終わりということではありません。センター機能は市立図書館に移行することになっています。</p>
<p>平成20年（2008年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管理職、司書教諭、学校司書対象の合同研修会開催*2</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>RAINBOW</b> (松江市学校図書館支援センターだより)</p> <p style="text-align: center;">松江市教育委員会内 松江市学校図書館支援センター Tel.55-5655 Fax.55-5543</p> <p style="text-align: right;">vol.17 平成20年9月24日</p> <p style="text-align: center;"><b>三者初の合同研修</b> <b>管理職・司書教諭・学校図書館司書合同研修会開催</b></p> <p>8月25日に今回はじめて管理職の先生方を含む初の合同研修会を開催しました。</p> <p>順次配置が進む学校図書館司書。現在配置は市内の学校の4割に達しました。学校図書館司書は、学校現場にこれまでなかった新しい職種です。学校としてどう受け入れ、どう連携を取り合っていくのか、管理職をはじめ、学校図書館司書と直接かかわる司書教諭、そして全教職員が、考えていかなければ学校図書館司書は持てる力を十分発揮できません。ところが、すでに受け入れている学校で司書教諭と学校図書館司書がどう連携すればいいのかかわからず悩んでいるという声があがっています。</p>

平成 23 年 (2011 年)

- 「図書館を活用する学び方指導体系表」作成\*3
- 市立図書館と学校間の物流システム稼働開始
- リーフレット「松江市の学校図書館活用教育」作成\*4

NO . 36 平成 23 年 5 月 2 日

**物流システムの利用状況**

- 昨年 11 月から市立図書館と学校図書館間を結ぶ物流システムが動き出しました。5 ヶ月間に市内を移動した本は全部で 6511 冊でした。あわせて年間の図書館を利用した授業回数も伸びました。

H22 年度(47 校 619 学級)6581 回、H23 年度(49 校 682 学級)10257 回  
(1 学級あたりは、H22 年度 10.6 回 ⇒H23 年度 15.0 回)

平成 24 年 (2012 年)

- 体系表活用に関する研修会開催\*5
- ブロックごとの研修開始

NO . 37 平成 24 年 5 月 30 日

**※ 鎌田先生をお迎えして研修会を開催 ※**

5 月 11 日(金)。鹿島文化ホールにて、帝京大学の鎌田和宏准教授をお迎えして「図書館を活用する学び方指導体系表にかかる研修」を開きました。校内に図書館活用の必要性を説明するためには、学習指導要領の「総則」をその根拠として理解することが大切だとのお話や、指導体系表をもとにした「年間指導計画」の作成や指導案の書き方など、具体的な取組につながる研修になりました。



平成 26 年 (2014 年)

- 「学び方指導体系表」小学校部分の改定作業を行い平成 27 年度より活用

NO . 63 平成 27 年 3 月 16 日

さらに、松江中小一貫基本カリキュラム「図書館を活用する学び方指導体系表」の改善について、検討も行いました。年度当初から各校に改善提案シートの提出をお願いして、1 月末までに支援センターへ寄せられた改善提案を見ながら、それぞれの立場で、いろいろな角度から細かに検討していただきました。現在、支援センターでとりまとめの作業をしており、新年度には「H27 年度版」として公表する予定です。なお、今回の改訂は、小学校の教科書を参考にして行いましたので、今後、中学校についても見直しを行い、平成 28 年度には小中一貫教育の指導体系表として改訂版の完成をめざしたいと考えています。この体系表をもとに、各校が年間指導計画を見直し、図書館活用教育の授業実践がより充実していくことを願っています。



平成 27 年 (2015 年)

- 「学び方指導体系表」中学校部分の改定作業を行い平成 28 年度より活用

NO . 68 平成 28 年 2 月 24 日

今後、支援センターでとりまとめの作業をしていき、新年度には「平成 28 年度版」として公表する予定です。

研究会議後のまとめ作業中の「学び方指導体系表」(案)です。  
中学校部分は平成 28 年度使用教科用図書を参考にしています。

**【学校図書館活用教育】松江中小一貫基本カリキュラム**  
「学び方指導体系表」～子どもたちの情報リテラシーを育てる～

平成28年度版		7	8	9
		中学1年	中学2年	中学3年
C	見つける 課題の設定	○目的と相手をはっきりさせる	○立場を整理する	○場面と相手と目的を整理する
		☆思考ツールを利用する		○社会生活の中から課題設定をする
D	情報の収集	○観点を立て、情報を集める	○情報メモを書く	○説得力のある資料を集める
		○マップの活用	○多様な方法で情報を集める	
E	人からの情報	○情報の集め方を考える	○複数の情報源で調べ、比べる	○ブレインストーミングをする
		○情報を的確に聞き取る	○要点を整理して聞き取る	
F	図鑑、辞典、事典、統計資料等の利用	・要点を押さえてメモを取る	・録音、撮影	
		・インタビューやアンケートを行う	・インタビューの依頼文を書く	
		・国語、漢和、和語、古語辞典、ことわざ、慣用語、英和辞典	・茶図、しり図、絵巻物	
		・百科事典	・地図帳	
		・題名、形態、キャッチコピー		

平成 28 年 (2016 年)

- イントラネットを利用した情報の共有化の充実

NO . 78 平成 29 年 3 月 23 日

**学校図書館に関する校務GW全体共有フォルダを随時更新しています**

平成 28 年度より、学校図書館支援センターや各校で作成した学校図書館活用教育に関する資料等の共有化を校務GW全体共有フォルダ内で開始し、今年度も各校からたくさんの資料を提供していただき、フォルダ内の充実化を図ることができました。

現在のアップ状況をお知らせします。

先生方の机上の PC から閲覧できます。  
デスクトップにショートカットを貼りつけておくことでアクセスに便利です。



<p>平成 29 年 (2017 年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の拡大 (新規学校司書研修、学校司書フォローアップ研修)</li> <li>・リーフレット改訂</li> </ul>	<p>NO . 80 平成 30 年 8 月 31 日</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>平成 30 年度 学校司書フォローアップ研修を行いました</b> 5 月 29 日(火)14:30~16:30 於松江市教育委員会会議室</p> <p>松江市における勤務年数 1 年目から 5 年目までの 11 名の学校司書を対象に、学校司書としての資質・能力の向上を図ることをねらいとしました。</p> <p>今年度は松江市立大庭小学校の門脇久美子学校司書に実践発表と参加者への助言をお願いしました。</p> <p>前半は門脇司書に「学校司書業務の実際」について、今までの勤務経験をもとに学校図書館の 3 機能を意識してそれぞれの機能が生かせるように、学習に役立つ表示の事例や資料リストや授業の様子の写真の記録を蓄積しておくことなどをわかりやすく丁寧にお話していただきました。さらに、学校司書も教職員の一人、先生や子どもたちに頼られているので先生や子どもたちとコミュニケーションをとることを大切にしてほしいという励まし言葉もありました。</p> <p>後半は 3 グループに分かれて、日頃工夫している事や困り事について意見交換をしました。参加者同士で解決策を考えたり、門脇司書に助言を求めたりする中で、参考になる事例がたくさん見つかり、活発に意見が飛び交っていました。</p> <p>参加者からは「学校司書の業務についてのポイントや心構えなどがとても参考になった。」「門脇司書の取組を参考にして、前年度に授業で図書館を活用した記録をまとめて先生と情報共有し、学習にも使いたい。」などの感想がありました。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>門脇学校司書の講義の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>情報交換の様子</p> </div> </div>
<p>令和元年 (2019 年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び方指導體系表」小学校部分の改定作業を行い令和 2 年度より活用</li> </ul>	<p>NO . 95 令和 3 年 8 月 2 日</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>松江市小中一貫基本カリキュラム「学び方指導體系表」と「単元関連表」について</b></p> <p>松江市では、児童生徒に義務教育 9 年間で身に付けてほしい学習の基礎的なスキルや生涯にわたる学び方のスキルとして、各教科等において学習内容と情報リテラシーの関係を明らかにした「学び方指導體系表」を作成しています。</p> <p>令和 2 年度から実施された学習指導要領および採択教科書を基に「学び方指導體系表」及び「単元関連表」の改訂を行い、小学校部分は令和 2 年度から、中学校部分は令和 3 年度から各校で活用していただいています。学校図書館担当者だけでなく、各学年・各教科等で情報リテラシーに関する指導の際に役立つものとなっておりますのでご活用ください。</p> <p style="background-color: yellow; padding: 5px;">「学び方指導體系表」「単元関連表」のデータは <b>校務GW全体共有フォルダ &gt; 照会回答 &gt; 04 学校教育課 &gt; 学校図書館支援センター</b> にあります。</p> </div>
<p>令和 2 年 (2020 年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び方指導體系表」中学校部分の改定作業を行い令和 3 年度より活用</li> </ul>	<p style="text-align: center;">* 「学び方指導體系表」の改定後の活用を推進するための記事</p>
<p>令和 3 年 (2021 年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット改訂</li> </ul>	<p>NO . 99 令和 4 年 6 月 1 日</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>松江市が推進する学校図書館活用教育</b></p> <p>松江市では、読書を通じた豊かな心の育成とともに確かな学力の育成の基盤として、学校図書館活用教育の推進に取り組んでいます。学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」という 3 つの機能のバランスを図り、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導や、自主的、自発的な読書活動の充実を目指します。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「松江市の学校図書館活用教育」のリーフレットを令和 4 年 3 月に改訂しました。 松江市HPに掲載しています アクセスは <a href="#">松江市</a>&gt;<a href="#">総合メニュー</a>&gt;<a href="#">暮らしのガイド</a>&gt;<a href="#">教育・子育て</a>&gt;<a href="#">学校・生徒指導</a>&gt; <a href="#">松江市学校図書館支援センター</a>&gt;<a href="#">学校図書館活用教育について</a></p> </div> </div>

- \*1 学校図書館支援センターだよりは、松江市のHPに令和元年度～最新号までのものを掲載しています。平成 30 年度以前の発行分を閲覧希望される方は松江市学校図書館支援センターまでご連絡ください。
- \*2 現在は年度初めに行う「学校図書館運営説明会」を合同研修としています。
- \*3 現在は令和元年度に小学校部分、令和 2 年度に中学校部分の改訂を行い、第 5 版となっています。
- \*4 令和 3 年度に改訂を行いました。
- \*5 学校図書館活用研修やブロック別研修 (授業研究) で体系表に関する研修を行っています。

## 令和4年度 学校司書フォローアップ研修を行いました

6月9日(木)15:00～16:30 於:松江市教育委員会室

松江市における勤務年数1年目から5年目までの学校司書を対象に、学校司書としての資質・能力の向上を図ることをねらいとした研修を行いました。9名の学校司書が参加し研鑽を積みました。

今年度は、松江市立大庭小学校の古川愛生学校司書と松江市立東出雲中学校の伊藤靖子学校司書のお二人に実践発表をしていただきました。実践発表の内容は次のとおりです。

### 古川愛生学校司書の実践発表

「学校司書の役割・業務」と題して、学校図書館や学校司書の基本的な役割や先生方との協働の様子、授業支援や読書支援の工夫点などの紹介をしていただきました。学校司書として、子どもたちが探していた本を手渡したときの表情や「おすすめの本、おもしろかった！」の一言、読み聞かせやブックトークを聞いている子どもたちの目の輝き、居場所としての図書館や他学年との交流の場の子どもの姿を見るたびに、やりがいを感じていると話してくださいました。多忙であるが無理せず、いつも笑顔でいることを心がけているという、自分が大切にしていることも伝えてくださいました。



古川学校司書の発表の様子

### 伊藤靖子学校司書の実践発表



伊藤学校司書の発表の様子

「ようこそ！東出雲中学校図書館へ」と題して、東出雲中学校図書館の取組を話していただきました。1年間の図書館運営や学校司書の業務計画を立て、見通しをもちながら、業務に取り組んでいることや読書センター・学習センター・情報センターの機能をどのように生かしているのか実践例や授業例を交えながら伝えていただきました。よもやま話として、単元別の本の紹介ポスターを学年の廊下に掲示したり、教職員へ本を紹介したりすることなど、自分の経験や司書教諭や教員との協働の中での取組の工夫も紹介していただきました。

### 参加者の感想より

- 具体例の紹介がたくさんあり参考になった。自校でも取り入れていきたい。
- コミュニケーションをとることが大切だとわかった。そのことが本好きな子どもたちにつながると、改めて思った。
- 先生とのコミュニケーションの場が少なく不安に思っていたが、連絡方法など具体的な事例の紹介があったので、早速、実践してみようと思った。
- 図書館を活用した授業について、記録をとったり、データ化したりすることが参考になった。

学校司書の仕事に対する意義を感じ、さらに意欲が高まったという感想が寄せられました。

## 学校司書の活動や気づき 令和4年5月、6月の学校司書業務報告書より

(各校の活動について、学校間で情報交換ができるように校名を学校(ボックス)番号で文末に表記しています。)

### ●読書支援に関すること

- ・6月は、雨やかさに関する本を展示した。展示している本を児童が借りてくれた時はとても嬉しかった。休み時間に図書館にきて児童同士で本を読み聞かせあっている姿を何度か見たことがあった。「私はこの絵本が好きだよ。」「どんな内容なの?」「じゃあ、読んであげる。」などという会話が聞こえてきた。本の面白さを自分だけで楽しむのではなく、友だちとも共有しているようだ。本は人と人をも結びつけることができる大切なものだと実感した。(9)
- ・図書館だよりで、読書感想文の課題図書を紹介した。発行した翌日、休み時間に4年生が「昨日のおたよりで紹介されていたチョコレートのお話の本はないですか?」と尋ねてきた。おたよりを読んで、興味をもってくれたことが嬉しかった。これからも、子どもたちや先生に本や図書館に興味をもってもらえるように工夫して情報発信していきたい。(31)



### ●学習支援に関すること

- ・図書館オリエンテーションの振り返りの時に以下のような感想があった。「図書館に貼ってある件名索引表の存在には以前から気づいていた。何のために貼ってあるのだろうと思っていたが、今日、その理由がわかった。」(3年生)、「分類記号のしくみやグループ分け(分類)の基準がわかった。」(4・5年生)。また、6年生で年鑑の存在を忘れていた児童へ「特定の年のデータが見たいときには、年鑑がおすすめです。」と言うと、「そうだった。」と気づいてくれた。今後、オリエンテーションの時だけでなく折に触れて、件名索引表や年鑑などのことについて声掛けをしていきたい。(7)
- ・今年度の総合的な学習の時間は、学年で一斉に授業を行うことになり、資料提供が難しい状況であったが、授業時間に合わせて館内に関連図書の展示をし、活用しやすくしたところ、資料を読んだり、借りたりする生徒がいた。今後も授業の形態や状況に合わせて資料の紹介方法を工夫していきたい。(35)
- ・中学3年生の家庭科「幼児の生活と遊び」で幼児向けのフェルトのおもちゃを作成する際に、本とタブレット(ネットワーク情報)から情報を集めた。本からの情報収集の利点は、おもちゃの具体的なイメージや名前が確認できたこととタブレットで検索するためのキーワードを知ることができた点である。タブレット使用の利点は、おもちゃの動きや作り方を3次元で確認できた点である。(47)

### ●図書館資料の整備に関すること



- ・パンフレット類の整理や更新を行った。松江城や小泉八雲など授業で活用するものを児童の目につきやすい場所に置いたところ、松江城の忍者について書かれているパンフレットに興味をもち、多くの児童が見るようになった。他のパンフレットはカウンターの後ろにコーナーを作り、教員へ図書館だよりで紹介し活用につなげるようにした。(26)

## 令和4年度 松江市学校図書館の運営体制について

松江市では学校図書館の運営や活用教育の推進を図るために、学校図書館運営組織の設置を推奨するとともに、司書教諭の発令(11学級以下の学校含む)や学校司書の配置を行っています。

○学校図書館運営組織の設置状況 全校設置

○司書教諭の発令

校種	学級数	学校数(校)	発令校数(校)	発令率(%)	発令人数(人)
小学校	12学級以上	18	18	100	31
	11学級以下	13	13	100	15
中学校	12学級以上	7	7	100	8
	11学級以下	7	5	71	5
義務教育学校		2	2	100	4

※司書教諭を複数発令している学校は13校

※司書教諭の発令がない学校は、司書教諭講習修了者が在籍していないため

○学校司書の配置

校種	人数(人)
小学校	31
中学校	14
義務教育学校	3

※全校に配置